

科目分類	研究科共通科目	単位数	1
時間割コード		履修年次	修士 1,2 年
授業科目・題目	学際プレゼンテーション入門	開講学期	集中講義 7月もしくは9月 【夏休み期間中】
授業科目・題目（英語）		曜日・時限	
科目コード		選択／必修	選択
担当教員	人文社会科学系研究科 石井 徹 医学研究科 浦野 健 自然科学系研究科（総理） 黒岩 大史 自然科学系研究科（生資） 石井 将幸 （教育推進センター 平川 正人） 教育推進センター 岩瀬 峰代	履修資格	特になし

授業形態	講義（演習）
授業の目的	受講者それぞれの研究や学問分野の意義を、異分野・一般の人に対して解り易く魅力的に伝える、研究プレゼンテーション能力を身につける。
科目の達成目標 （達成度）	（1）プレゼンテーションの構成要素を理解し、プレゼンテーションとは何かを説明できる。（知識） （2）プレゼンテーションの論理構築・データ整理・ストーリーの設計・ビジュアル作成の方法について説明ができる（知識） （3）プレゼンテーションを実施するスキルを身につけることができる。（技能） （4）身につけたスキルを実践しようとするすることができる。（態度）
授業の内容 および方法	プレゼンテーションの基本的な構成要素を理解するとともに、各研究分野におけるプレゼンテーションの方法を用い、異分野・一般の人に対して解り易く研究の魅力的に伝える研究プレゼンテーション能力を身につける。 【1】 導入（プレゼンテーションの必要性） 【2】 P1：Planning & Program 計画と構成 【3】 P2：Preparation 準備とリハーサル 【4】 P3：Personality プレゼンターの役割、能力、人柄 【5】 P4：Performance Skills 洗練された発表の技術 【6】 P5：Practice 日常的な訓練と上達のためのヒント 【7】 効果的なコミュニケーション 【8】 まとめ
授業の進め方	講義とワークショップ、プレゼンテーション演習を組み合わせ実施する。プレゼンテーションへの理解を深めるとともに、実際に伝わるプレゼンテーションを行うスキルを身につけられるように授業を進める。
授業キーワード	プレゼンテーション、主体的学修
テキスト	『プレゼンテーションの教科書 第3版』脇山真治 日経BP社
参考文献	「アメリカの大学生が学んでいる「伝え方」の教科書」著者：スティーブン E・ルーカス 監訳：狩野みき SBクリエイティブ
その他授業資料等	授業のつと適宜配付する。
成績評価の方法 およびその基準	
履修上の指導	毎回様々な角度から「プレゼンテーション」を考え、実践を行うように組み立てて授業を行いますので、自身が主体的・積極的に活動することが求められます。先入観なく物事の本質をとらえるための知的好奇心、また最後まで諦めずに考え抜く学習する態度が必要となります。
オフィスアワー	
その他	